

3号様式の1

排出量削減計画書

		<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 変更				
(宛先) 京都府知事		令和 6年 11月 12日				
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 京都府京都市右京区太秦御所ノ内町2番地		氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 株式会社 騎士コーポレーション 代表取締役 艸川 嶺介 電話075 -871-7778				
主たる業種	とび工事業	細分類番号	0 7 2 1			
事業者の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 産業部門 <input type="checkbox"/> 業務部門 <input type="checkbox"/> 運輸部門					
計画期間	令和6年4月 ~ 令和9年3月					
基本方針	京都府が掲げる2050年までの「温室効果ガス排出量実質ゼロ」に賛同し、弊社も脱炭素社会の実現に向けて二酸化炭素排出量の削減に取り組む。					
計画を推進するための体制	役員をはじめ全社員が一丸となり二酸化炭素排出量の削減に取り組み、進捗状況を常に確認することにより4%以上削減を達成する体制を整える。					
削減率						
温室効果ガスの排出の実績及び削減の目標	温室効果ガスの排出の量	基準年度 (R5) 年度	第1年度 (R6) 年度	第2年度 (R7) 年度	第3年度 (R8) 年度	3年平均増減率 (基準年度比)
	事業活動に伴う排出の量	47.1 トン	45.2 トン	45.2 トン	45.2 トン	-4.0 パーセント
	グリーン電力証書や非化石証書等の購入によるもの削減量					
	評価の対象となる排出の量	47.1 トン	45.2 トン	45.2 トン	45.2 トン	-4.0 パーセント
	年度ごとの増減率(基準年度比)		-4.0 %	-4.0 %	-4.0 %	
目標の根拠	会社全体で脱炭素社会の実現について考え、削減目標4%を達成できるよう社内で進捗状況を確認し、取り組みしていく。					
具体的な取組及び措置の内容	1年目	役員をはじめ全社員が全ての業務工程で無駄をなくし、二酸化炭素排出量の削減を目指す。				
	2年目	エコカーの導入やアイドリングストップ等のエコドライブを推奨し、二酸化炭素排出量の削減に努める。				
	3年目	省エネ効果の高い設備への切替や太陽光パネルの導入などにより二酸化炭素排出量の削減に努める。				
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	事務所周辺の清掃活動により地域貢献し、節電、節水、書類等の電子化、一般廃棄物の削減、廃材のリサイクル等により地球温暖化対策に貢献していく。					
特記事項	・ガソリン、軽油の過去2年分のデータ抽出ができないため基準年度を令和5年度(直近期)とする。					

注 1 該当する□には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。

注 2 「細分類番号」とは、統計法(平成19年法律第53号)第2条第9項に規定する統計基準である日本標準産業分類の細分類番号をいいます。

注 3 「基準年度」とは、計画期間の前年度又は計画期間の前の3年度の事業活動に伴う排出の量の平均をいいます。